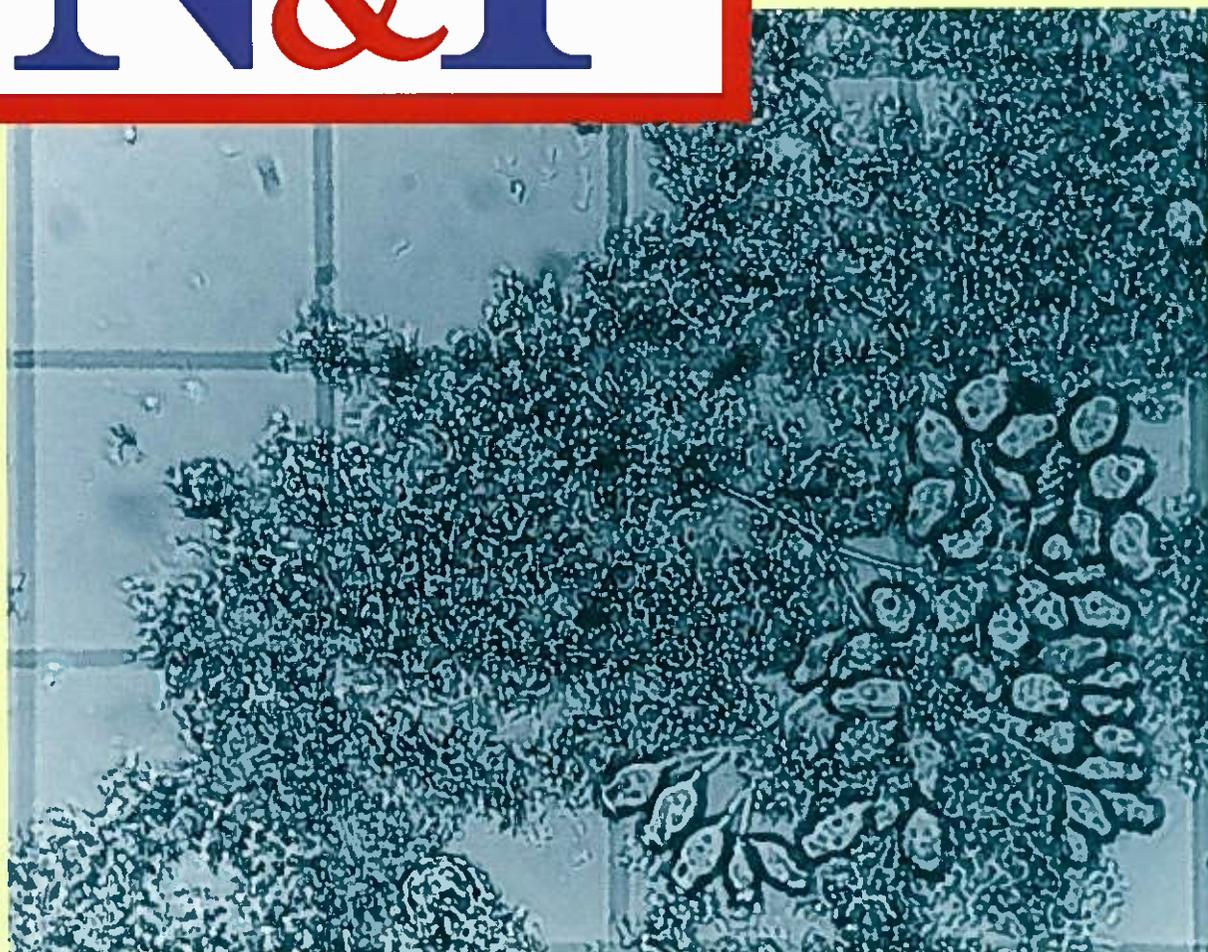


活性汚泥の栄養剤

タキ N&P

コストダウン
安全性向上と
合理化のため



多木化学株式会社

活性汚泥の栄養剤

タキN&P

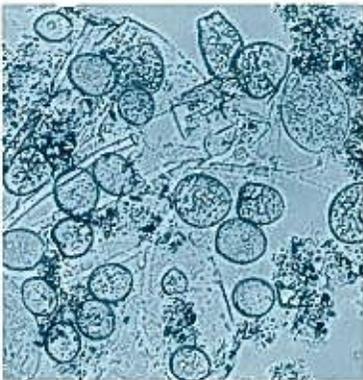
排水中のBOD成分の処理は一般に「活性汚泥法」によって行われていますが、十分な効果を得るためには細菌(バクテリア)の働きを活発にするのが決め手となります。排水の種類によって微生物の必要とする栄養量は異なりますが、栄養バランスとして最適なものは、BOD : N(チッソ) : P(リン) = 100 : 5 : 1 であるといわれています。「タキN&P」はN : P = 5 : 1 に配合した栄養剤ですので、従来のようにN源、およびP源を個別に管理する必要がなく、また、安全性および経済性からみてもきわめてすぐれています。

コスト……………従来のようにアンモニア水、尿素、硫酸、リン酸等を単独で使用される場合に比べてコスト低減が期待できます。

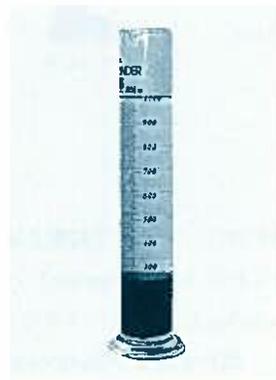
安全性……………pHは中性ですから、アンモニア水やリン酸と異なり万一皮膚に触れても安心です。

管理面……………従来 of N源とP源の複数管理に比べて単品管理でよく、腐食性も水と同程度ですから、作業面、設備面の合理化ができます。

正常な活性汚泥(曝気槽)の状態



顕微鏡写真



SV30

タキN&P 153 (液体)

使用方法

- 液体ですからそのままご使用いただけます。また、注入ポンプの容量に合わせて任意に希釈してもご使用いただけます。
- 一日当たりのご使用量は、BOD : N : P = 100 : 5 : 1 のバランスで注入してください。
- 一日当たりの使用量は次の計算式でお求めください。

$$\text{タキN\&P 153 (kg/日)} = \text{BOD (ppm)} \times \text{水量 (m}^3\text{/日)} / 3000$$

一般的性質

項目	内容
外観	淡黄褐色ないし褐色透明な液体
N(チッソ)含有量	15%以上
P(リン)含有量	3%以上
pH	7.0±1.0
粘度 (cp 20°C)	4.0±1.0
比重 (20°C)	1.10~1.20
凍結温度	-10°C以下

As、Pb、Cd、Cr、Hg等の重金属類は極めて少なく、純度の高い製品です。

※排水中のBOD成分及び排水量により最適注入量は決定されますが、排水中にN分、P分が含まれている場合があります、その際にはN:Pの割合を変えて納入させていただきますのでご相談ください。

輸送

タンクローリー車

タキN&P (粉末)

使用方法

- 50℃以下の水で3倍以上に溶解してご使用ください。高純度品ですから攪拌により極めて簡単に溶解します。
- 一日あたりのご使用量は次の計算式でお求めください。

$$\text{タキN\&P (kg/日)} = \text{BOD (ppm)} \times \text{水量 (m}^3\text{/日)} / 7500$$

一般的性質

項目	内容
外観	白色ないし淡黄色顆粒
N(チッソ)含有量	37.5%以上
P(リン)含有量	7.5%以上
pH	7.0~8.0
粘度(cp 20℃/40%溶液)	2.7~2.8
見掛比重	0.52~0.58

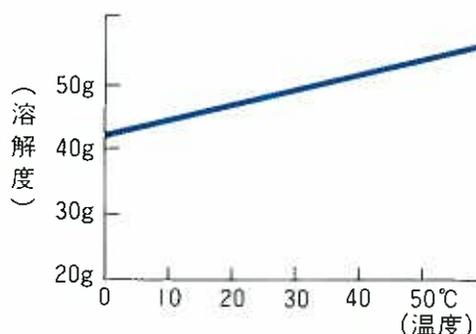
As、Pb、Cd、Cr、Hg等の重金属類は極めて少なく、純度の高い製品です。

※「タキN&P」の保管には、なるべく乾燥した涼しい場所をお選びください。また、タキN&Pは配合品ですから、なるべく袋単位でご使用ください。小分けして使用される場合はよく混合してください。

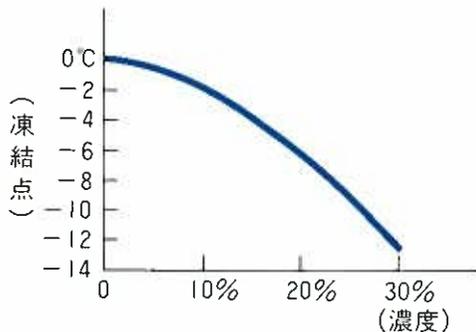
荷姿

20kg 紙袋(PE内袋)

溶解度 (g / 100 g 溶液)

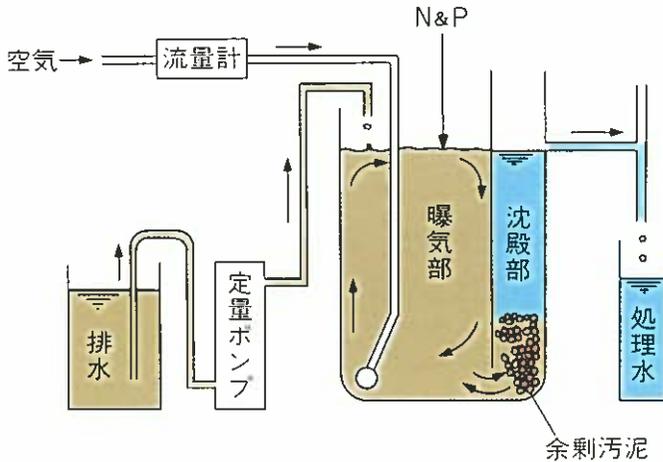


凍結点



〔タキN&Pと活性汚泥〕

活性汚泥による排水の連続処理装置

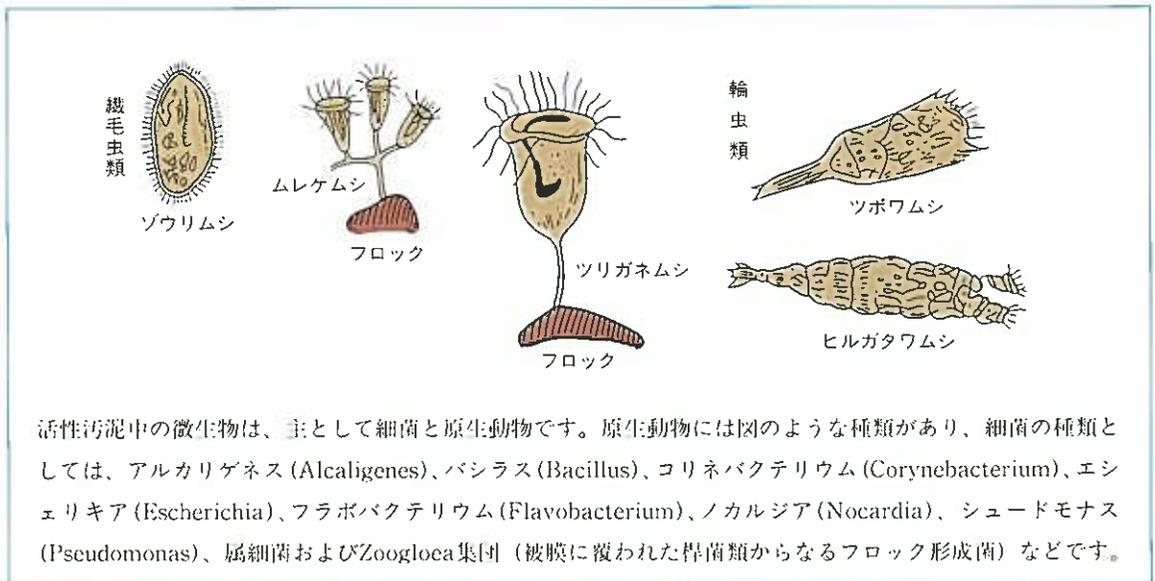


BOD数百PPMの有機物を含む排水とタキN&Pを活性汚泥処理の曝気槽に入れてエアレーションすると、好気性細菌がさかんに増殖してフロック(塊)を形成するとともに有機物を炭酸ガスと水まで酸化分解します。曝気槽の沈殿部ではフロックが沈降して(余剰汚泥)、透明な上澄液が得られ、これを処理水として放流します。

活性汚泥は好気性細菌を大いに増殖させて、排水中の有機物を速やかに吸着させ、強固なフロックを形成させるのがポイントです。

タキN & Pは微生物の栄養源としてNとPが最適バランスでふくまれています。

活性汚泥中に生息する原生動物



活性汚泥中の微生物は、主として細菌と原生動物です。原生動物には図のような種類があり、細菌の種類としては、アルカリゲネス (Alcaligenes)、バシラス (Bacillus)、コリネバクテリウム (Corynebacterium)、エシエリキア (Escherichia)、フラボバクテリウム (Flavobacterium)、ノカルジア (Nocardia)、シュードモナス (Pseudomonas)、属細菌およびZoogloea集団 (被膜に覆われた桿菌類からなるフロック形成菌) などです。



多木化学株式会社

- 仙台営業所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町一丁目4番1号
TEL. (022) 265-0691
- 東京営業所 〒104-0061 東京都中央区銀座七丁目14番4号
TEL. (03) 3543-1905
- 名古屋営業所 〒465-0092 名古屋市名東区社台三丁目90番地
TEL. (052) 773-3361
- 大阪営業所 〒550-0002 大阪市西区江戸堀一丁目2番11号
TEL. (06) 6444-3306
- 加古川営業所 〒675-0124 兵庫県加古川市別府町緑町2番地
TEL. (079) 437-2000
- 福岡営業所 〒808-0022 福岡県北九州市若松区安瀬64番70
TEL. (093) 761-0277

取扱い店